

警報・通知の理解ガイド

(日本版・災害対策用)

目次

1. 国が発信する緊急情報（最優先で行動が必要）	2
● J アラート（全国瞬時警報システム）	2
2. 気象庁が発表する警報・注意報	3
● 気象警報・注意報	3
● 緊急地震速報（警報）	3
● 津波警報・注意報	4
3. 自治体が発信する防災情報	5
● 避難情報（2021年改定後）	5
● 防災行政無線（屋外スピーカー）	5
● L アラート（災害情報共有システム）	5
4. スマホに届く緊急通知	7
■ 緊急速報メール（携帯各社）	7
■ 自治体アプリ・防災アプリ	7
5. その他の重要な通知	7
● 火山情報（気象庁）	7
● 洪水・河川情報（国交省）	8
● 化学物質事故・有害物質情報	8
6. 行動判断の優先順位	8
7. 家庭向けチェックポイント	8
8. 子ども向け簡易版	8

1. 国が発信する緊急情報（最優先で行動が必要）

① Jアラート（全国瞬時警報システム）

発信者：国（内閣官房・消防庁等）

目的：国民の生命に直結する“即時行動”が必要な事態を通知

主な配信内容

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 緊急地震速報（一般向け）
- 津波警報（大津波・津波）
- 火山噴火警報（居住地域向け）

届く手段

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
- スマホの緊急速報（エリアメール／緊急速報メール）
- テレビ・ラジオ
- 自治体の防災アプリ

行動のポイント

- 「直ちに避難」レベルの情報
- 内容の正確な理解より「即行動」を優先
- 原則として自己判断はしない
- 屋内避難・遮蔽物利用など即行動

2. 気象庁が発表する警報・注意報

● 気象警報・注意報

発信者：気象庁

種類

- 特別警報（命を守る行動）
大雨・大雪・暴風・暴風雪・波浪・高潮
- 警報（重大な災害の恐れ）
- 注意報（災害の可能性あり）

行動のポイント

- 特別警報は **避難完了が前提**
- 警報は **避難判断の基準**
- 注意報は **早期警戒**

● 緊急地震速報（警報）

発信者：気象庁

種類

- 緊急地震速報（警報）：最大震度5弱以上が予想される場合に発表
- 緊急地震速報（予報）：震度3以上が予想される場合など、主に報道・アプリ向け

行動のポイント

- 身を守る行動を即実施
- 揺れが来るまで数秒～十数秒

津波警報・注意報

発信者：気象庁

種類

- 大津波警報（10m 級の可能性）
- 津波警報（3m 級）
- 津波注意報（1m 級）

行動のポイント

- 警報＝即避難
- 注意報でも海岸・河口から離れる

3. 自治体が発信する防災情報

● 避難情報（2021年改定後）

発信者：市区町村

レベル別

- レベル5：緊急安全確保（すでに災害発生）
- レベル4：避難指示（必ず避難）
- レベル3：高齢者等避難
- レベル2：避難行動の確認
- レベル1：早期注意

行動のポイント

- レベル4で全員避難
- レベル3は高齢者・乳幼児・障がい者が先に避難

● 防災行政無線（屋外スピーカー）

- Jアラートの内容
- 避難情報
- 行方不明者情報
- 火災情報
- 水防情報

行動のポイント

- 聞き取れない場合は自治体サイト・SNSで確認

● Lアラート（災害情報共有システム）

発信者：自治体・ライフライン事業者

目的：避難情報・災害情報をテレビ・アプリ・ネットに一斉配信する共通基盤

住民が受け取る情報の例

- 避難指示（レベル4）

- 避難所開設情報
- 河川水位・洪水情報
- 断水・停電・ガス供給情報
- 交通・ライフライン情報

届くメディア

- テレビの L 字画面・データ放送
- Yahoo!防災速報などのアプリ
- ポータルサイト
- デジタルサイネージ

特徴

- 住民に直接通知はしない（BtoB 基盤）
- 自治体が 1 回入力すれば、多数のメディアに一斉配信される
- 避難情報の伝達速度と正確性を高める役割

4. スマホに届く緊急通知

緊急速報メール（携帯各社）

- Jアラート
- 緊急地震速報
- 津波警報
- 避難情報（レベル4以上）

特徴

- 強制受信（設定でOFFにできない項目あり）
- 圈外・電源OFFでは受信不可

自治体アプリ・防災アプリ

- Yahoo!防災速報
- NHKニュース防災
- 各自治体アプリ

特徴

- 位置情報に基づく通知
- 詳細情報が得られる

5. その他の重要な通知

火山情報（気象庁）

- 噴火警報（居住地域）
- 噴火警報（火口周辺）
- 噴火予報

洪水・河川情報（国交省）

- 水位情報
- 水害発生情報
- 水害危険情報

化学物質事故・有害物質情報

- 自治体・消防が発信
- 工場事故・ガス漏れなど

6. 行動判断の優先順位

1. Jアラート（国）
2. 緊急地震速報・津波警報（気象庁）
3. 避難情報（自治体）
4. 気象警報・特別警報（気象庁）
5. 防災アプリ・ニュース

7. 家庭向けチェックポイント

- スマホの 緊急速報設定を確認
- 家族で避難レベルの意味を共有
- 防災アプリを最低2つ入れる
- 高齢者・子ども向けに通知の意味を簡易化した説明を準備
- 夜間・就寝時の通知に備え、枕元にライト・靴を置く

8. 子ども向け簡易版

- 大きな音の通知=すぐに身を守る
- 地震の通知=机の下へ
- 津波の通知=海から離れる
- 避難の通知=大人と一緒に、決めた場所へ行く